

1. 単元名 「あきと ともだち」
2. 本時のねらい

木の実を使った工作や、布を染める活動を通して、秋らしい遊びや色などを味わい、楽しむことができる。

3. 本時の展開(20/23)

主な学習活動・学習内容	○…指導上の留意点等 評 …評価
1. 前時までの活動内容と、本時の活動を確認する。 あきをたのしみながら、つくったり そめたりしよう。	○学習カードに書いた、「もっとやりたいこと、ほしいもの」を活用して、工作や染める活動に必要なものを把握し、事前に揃えておく。
2A. 布を染める。 C: 絞り方はあっているかな。友達に見てもらいたい。 C: こんな柄がついてくれて、うれしい。 C: どんぐりって、桜ピンクとはまた違って、いい色が出るな。 C: なんだか焼き芋みたいな美味しそうなおいがして、秋っぽい感じだなあ。 2B. 木の実を使った工作をしたり、遊んだりする。 C: ボンドでくっつけたのに、しっかり固まってくれないぞ。すぐ取れちゃって、困ったなあ。 C: こま回しの対戦がもっと楽しくなるように、バトルフィールドを作ってみたら、すごくおもしろい！ C: まつぼっくりの飾りの置き方がうまくいなくて困っていたんだ。友達に、どうやったのか聞いてみたいなあ。 C: けん玉競争、もっとやろう。	○教師は、子どもと一緒に遊び、楽しんでいるようにしながら、活動の様子や表情などを観察していく。 ○協働的な活動になるように、席を広場の形にし、自由に材料を選んだり、広く床を使って遊んだり、子ども同士が自然に関わりやすい場や雰囲気をつくる。 評 染め物の秋らしい色や、木の実などの工作に、楽しんで取り組もうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】(行動観察)
3. 活動を振り返る。 C: うれしい。早く持って帰って、家族に見せたり、プレゼントしたりしたいなあ。	○材料を無駄にしないように、木の実などを拾ったり、分類して戻したりするように促す。

4. 板書計画

あきを たのしみながら、
つくったり そめたり しよう。